



農山村の地域資源を次世代に

『都市と農山村をつなぐボランティア活動』

とちぎ **夢** 大地応援団

■佐野市多田地区 11月2日実施



権木の伐採



ぬかる足場での草刈り

■佐野市船越南地区 2月21日実施



権木の刈払い



伐採した権木の運び出し

■カレッジ活動3回目 大田原市須賀川 12月7日実施



映画のロケ地としても有名な旧須賀川小学校校舎を背にして記念撮影を行いました

はばたけ夢大地

第16号 2014/3

とちぎ夢大地応援団事務局
(公財)栃木県農業振興公社
栃木県農政部農村振興課

— 今年度初めて取り組んだ地区 —

柴田保全会

(佐野市 多田地区)



夢大地応援団員12名と地元柴田保全会員14名、関係者10名が参加して、耕作放棄地の刈払いや灌木の伐採を行いました。午前・午後の部で約4時間にわたり作業を行い、約1.5haの耕作放棄地の復元を図りました。



船越南町会

(佐野市 船越南地区)



夢大地応援団員やJA佐野のトラクターオペレーター、地元町会会員ら28名が参加して、約60aの耕作放棄地の灌木の伐採や草の刈払いを行いました。復元された農地は、麦をまく予定です。



— 継続して取り組んでいる地区 —

土呂部自治会

(日光市 土呂部地区)



夢大地応援団関係者15名、社会福祉協議会ボランティア16名、地元自治会会員13名が参加して、約3時間にわたって地区内数カ所の耕作放棄地の草刈りを行いました。応援団には宇都宮大学のサークル『さとびと』の学生7名も参加し、背丈ほどに伸びた雑草と格闘していました。



背丈ほどに伸びた草の刈払い

和田用水

ホタルの里の会

(鹿沼市 中粕尾地区)

9月29日
実施

夢大地応援団員8名や鹿沼南高生6名、地元関係者ら60名が参加して、ホタル生息地の水路清掃（外来植物のコカナダモの除去）および水路脇の休耕田へ小松菜の種まきを行いました。作業後には地元産食材たっぷりのけんちんやコンニャクの煮物、味噌おにぎり等が振る舞われました。



水路の清掃



小松菜の種まき

大柿の郷をまもる会

(栃木市 大柿地区)

10月12日
実施

平成24年に引き続き2年目となる活動が、応援団員20名、地元関係者等17名が参加して行われました。当日は30度を超す季節はずれの猛暑の中、耕作放棄地の刈払いや山道の修復等に参加者全員汗だくで頑張り、地元の期待に応えました。復元された農地には小麦をまき、収穫後はうどんやピザに加工するそうです。



跡地には子供たちが小麦をまく計画です



山道の修復作業

里山大木須を愛する会

(那須烏山市 大木須地区)

10月20日
実施

国蝶オオムラサキの生息地としての環境保全に努める大木須地区。今回で5回目の応援団活動は、台風の影響による悪天候の中、応援団員やナルク栃木の6名や県・地元関係者7名の13名で、作業を行いました。作業後は、地元の女性たちが調理した野菜たっぷりの芋汁等を美味しくいただきながら、参加者同士和やかに交流を図りました。



雨の中での草刈り



草刈り精鋭部隊

文挾ため池ふれあいの里 づくり協議会

(日光市 文挾地区)

10月20日
実施

夢大地グランドワークin文挾が夢大地
応援団7名と地元自治会員60名が参加して、
ため池周辺畦畔の草刈り等を行いました。
当日は台風の影響で悪条件でしたが、地
元の人から「応援団の人は草刈りが上手
で手際がいいね」とおほめの言葉をいた
だきました。作業後は温かい豚汁が振る
舞われました。



傾斜のある畦畔の草刈り



ため池水路の草刈り

佐野市 下秋山町会

(佐野市 下秋山地区)

11月10日
実施

4回目となる活動には、応援団員と関係
者9名と地元町会員18名が参加しました。
「夢大地応援団活動のおかげでイノシシ
による被害は減ってきている。今回もけ
がのないようによろしくお願いします」
と町会長があいさつ。3班に分かれて秋山
川沿いに設置されたイノシシ侵入防止柵
近辺の遊休農地の草刈りを行いました。



草刈りのようす



国見棚田保全組合

(那須烏山市 国見地区)

11月16日
実施

日本の棚田百選に認定されている国見
地区の活動が応援団員・関係者29名、地
元自治会員21名が参加して開かれ、棚田
周辺の草刈りを行いました。応援団員の
内訳はナルク栃木会員11名やTBC学園
生4名などで、急傾斜地の草刈りに真剣に
取り組んでいました。交流会では「来年
も共に頑張ろう!」の言葉で散会しました。



作業のようす

— カレッジ活動 —

第3回活動報告 「大田原市須賀川地区」 H25・12・7(土)

第3回夢大地応援団カレッジ活動が12月7日、大田原市須賀川の旧須賀川小学校で、宇都宮文星短期大学の学生・職員5名と地元やみぞあづまっぺ協議会員11名、那須農業振興事務所など関係者5名の合わせて21名が参加して開かれ、紅茶のゴミ取りやトウガラシの葉摘みといった農作業や蕎麦打ち体験などを行いました。

今年度のカレッジ活動は、宇都宮文星短大生が大田原市須賀川のやみぞあづまっぺ協議会員のもとを訪れ、第1回が6月1日に38名が参加して茶摘みやお茶の手揉み加工を体験、第2回が7月6日に27名が参加して荒れた茶畑の復元作業を行ってきました。今回参加した学生は「地域の人と楽しくボランティア活動ができた。これからも機会があったら参加したい」と笑顔で話してくれました。



紅茶のゴミの見分け方など指導を受ける



根気のいる紅茶のゴミ取り作業に取り組む



蕎麦打ちに挑戦



自分の打った蕎麦はお持ち帰り



トウガラシの葉摘み作業



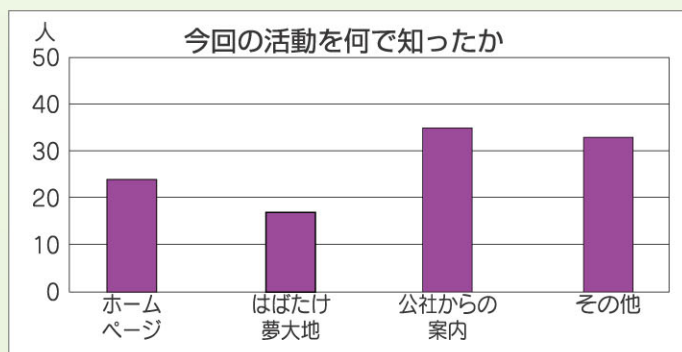
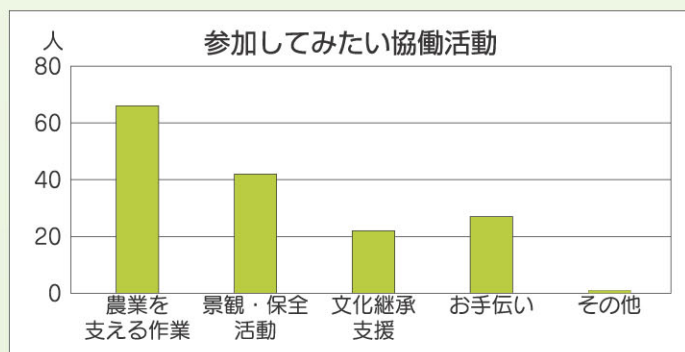
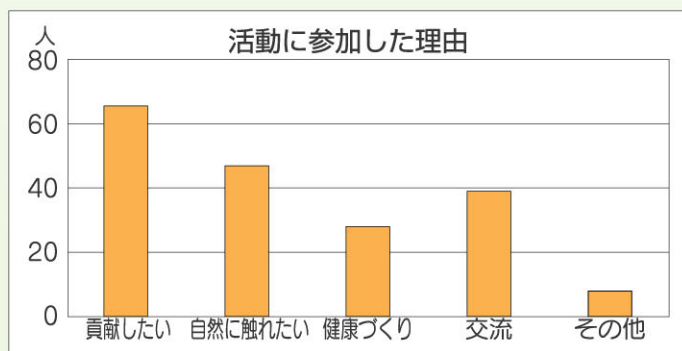
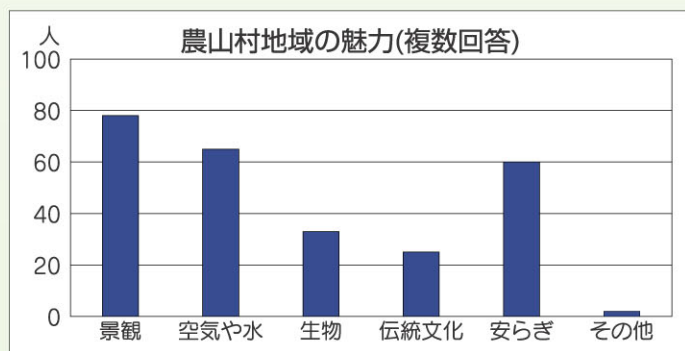
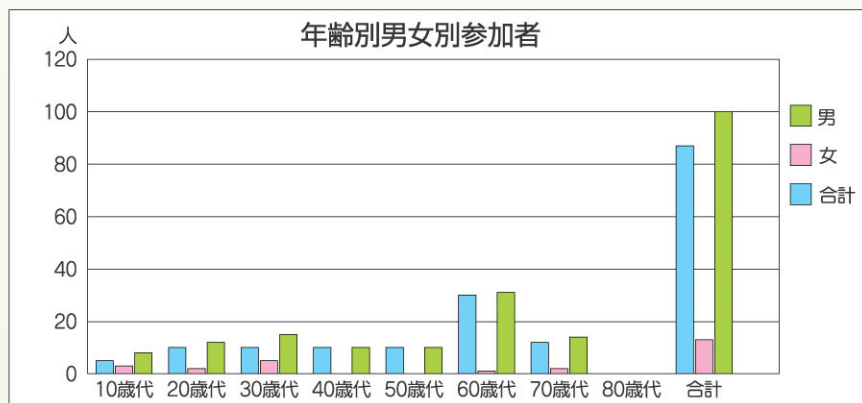
紅茶を飲みながら交流

— アンケート調査 ご協力ありがとうございました —

平成25年度の夢大地応援団活動時に100名のボランティアの方々からアンケート調査に御協力をいただきました。アンケート集計の結果は下記のグラフのとおりです。

参加者の年齢は60歳代が最も多く、次に30,70歳代の順で、10代の参加者も8名いました。「農山村地域の魅力は」の問いには「美しい景観をみることができる」、「きれいな空気や水を感じる」、「心のやすらぎを感じる」の順でした。「ボランティア活動に参加した理由」では、「農村の環境保全に貢献したい」が最も多く、次に「自然に触れたい」、「同志と交流ができる」の順でした。「参加してみたい協働活動」は、「農業を支えるための水路清掃や耕作放棄地の刈払い作業」(66名)、「農山村の景観向上やホタルの保護等の生態系保全活動」(42名)を希望されています。

今後も活動への参加よろしくお願いします。



◎活動の詳細は農業振興公社ホームページ（とちぎ夢大地応援団の案内）でご覧ください。

◎とちぎ夢大地応援団活動は、県と農業振興公社が募集・活動の支援を行っています。

とちぎ夢大地応援団事務局

(公財) 栃木県農業振興公社

栃木県農政部農村振興課
中山間地域担当

<http://www.tochigi-agri.or.jp/yumedaichiouendan/index>

〒320-0047 宇都宮市一の沢2-2-13

TEL 028-648-9511 FAX 028-648-9517

〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20

TEL 028-623-2334 FAX 028-623-2337

とちぎ夢大地応援団

